



結核しずおか

6号2001年4月25日

発行所

財団法人結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 花崎敏行

印刷 三協印刷株式会社



(写真提供 富士市 一条義明氏)

巻頭言

「結核緊急事態宣言」が出され、結核対策の重要性が指摘され、すでに久しい。しかし全国的には、結核の退潮どころか死亡者は微増である。効果的な対策を打ち出せぬまま、課題を認識しつつも既存の事業をこなしているのが現状であろうか。

県庁ではフラット化を導入し、県民のニーズに的確かつスピーディに対応できる体制を整え、結核対策に臨んでいる。こうした県庁の取り組みは、必ずや結核対策に大きな進展をもたらすものと期待している。

結核対策といえば、学生時代のフィールドワークを思い出す。日本キリスト教海外医療協力会（Jocs）主催のフィールドワークに参加し、現結核研究所副所長の石川信克先生をバングラディッシュに訪ねたのである。結核の悲惨さと途上国の貧困を目の当たりにした2週間であったが、もう一つ、BCG接種に係る配慮ある感染防止対策を学んだ。

当時、注射針が貴重なバングラディッシュにおいては、注射針を変えることなくBCG接種を多数の子供に行っていた。しかし、接種する度に、アルコールランプの炎で針が真っ赤になるまで熱した後、ワクチン液をジュッと一滴たらし、そして別の子供にBCGを接種するのである。資源の乏しさを工夫で補い、立派な防止対策が20年以上も前にバングラディッシュでなされていた。C型肝炎禍が話題になっているが、患者中心の愛ある配慮を忘れてはならないと肝に命ずる次第である。

平成13年4月



財団法人結核予防会静岡県支部
副支部長 土居 弘 幸
(静岡県健康福祉部技監)

平成13年度事業計画

I 教育・広報事業

1 行事による教育広報

(1) 全国結核予防週間における啓発

静岡県、市町村、静岡県結核予防婦人会などと連携し、マスメディアなどの媒体を通して結核予防思想の普及・啓発に努める。

ア 期 間 平成13年9月24日(月)～30日(日)

イ 実施内容

① 街頭キャンペーンの実施

・ 静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して、街頭無料検診や結核予防のリーフレット、ポケットティッシュなど配布し、結核予防思想の普及啓発を図る。

平成13年9月29日(土)静岡市青葉イベント広場に於いて実施

・ 静岡県結核予防婦人会各支部の協力を得て、県内各地において結核予防のリーフレット、ポケットティッシュなどの配布とともに複十字シール募金運動街頭キャンペーンを実施し、結核予防思想の普及啓発を図る。

② ポスター等広報資料を県・市町村等に配布

結核等の正しい知識と対策が広く県民に十分浸透するよう、掲示・配布をお願いする。

③ 結核対策のための複十字シール募金運動の大切さと募金協力をお願いを新聞に掲載

(2) 静岡県結核予防大会の開催

静岡県結核予防婦人会と共催で、静岡県の後援並びに市町村の協力を得て、特に平成13年度から全国結核予防週間に実施する。

ア 開催日 平成13年9月28日(金)

イ 開催場所 静岡県総合福祉会館7階ホール

ウ 実施内容

① 特別講演

② 結核予防功労者、結核予防功労団体の表彰

(3) 結核予防全国大会(53回)への参加

平成14年3月24日前後に沖縄県で開催される第53回結核予防全国大会に県、市町村、静岡県結核予防婦人会が参加して、結核予防に対する知識の向上を図る。

2 教育広報資料の作成・配布

(1) 広報誌「結核しずおか」の発行

年3回(4月・9月・1月)発行し結核予防に関する普及啓発並びに当支部事業のアピール等を行う記事を掲載する。

県・市町村・病院(呼吸器内科)等関係機関、事業所、複十字シール募金者等に配布

(2) 業務案内誌の発行

当支部の業務内容案内等を掲載したガイドパンフレットを作成する。

県・市町村・病院等関係機関、事業所、福祉施設、複十字シール募金者等に配布

(3) 標語付カレンダーの作成配布

県、市町村及び関係機関に配布

(4) 結核予防ポスターの配布

県、市町村、学校、事業所及び関係機関に配布

(5) 「結核リーフレット」の配布(結核予防会本部発行)

県、市町村、学校、事業所及び関係機関に配布

(6) 「複十字」の配布(結核予防会本部発行)

県、市町村、関係機関に配布

(7) 「健康の輪」の配布(社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会発行)

県、市町村、関係機関に配布

(8) 啓発用ビデオテープ、パネルなどの貸し出し

3 報道機関との連携

結核関係の主要行事、結核関係資料等ニュース素材の提供を静岡県所管室を通じて行い、報道に取り上げを依頼する。また、静岡県が行う広報事業に積極的に協力する。

結核検診で肺癌も



4 関係機関、協力組織との連携

(1) 静岡県結核予防婦人会は、結成以来当支部と連携を密にして結核予防活動を行っているので、全面的に協力並びに支援を行う。

- ア 静岡県結核予防婦人会総会
- イ 地区支部長・担当者会議
- ウ 結核予防リーダー研修会
- エ 全国結核予防婦人団体幹部中央講習会（第6回）参加
 - ① 開催日 平成14年1月下旬
 - ② 開催地 東京

(2) 県・市町村が行う健康祭等へのイベントに参加
結核、肺がんのパネル等を出展して、参加者に対して結核及び肺がんの予防等の普及啓発を行う。

- ア 県総合女性センター“県民の日イベント”
- イ 裾野市・清水町“健康祭り”



II 資金造成事業

- 1 複十字シール募金運動（特別会計）
 - 2 経口生ポリオワクチンの斡旋（特別会計）
 - 3 出版物の斡旋（特別会計）
- 本部発行の結核関係等の専門図書、刊行物の斡旋を行う。

III 検診事業

結核予防法による結核検診、老人保健法による肺がん、胃がん及び労働安全衛生法による事業所検診を実施し、もって資金造成に充てる。

平成13年度計画

(単位：人)

検診事業項目	学校検診事業	住民検診事業	事業所検診事業	その他(定期外等)
間接撮影	50,700	140,100	88,800	11,000
直接撮影	900	1,800	2,700	3,400
肺がん検診		106,900		
肺がん喀痰細胞診		3,800		
胃がん検診		4,900	1,800	
総合検診(法定等)			14,300	

IV 施設・設備の整備

X線車1台を購入する。また、平成12年度整備したコンピューターシステムの本格的稼働を行ない、さらに整備拡充を図りつつ、検診業務の合理化・効率化を進める。

V その他

1 会議の開催

- ア 理事会並びに評議員会 年2回開催
- イ 業務連絡会議 月1回
- ウ 各種委員会 必要の都度
- エ 市町担当者会議 検診受託17市町

受託市町の検診業務の円滑化を図るため、前年度の反省を踏まえて来年度計画の打ち合わせを行う。同時に結核予防思想等の普及啓発のための講演を行う。

2 研修会、講習会への参加

- (1) 結核予防会本部主催
 - ア 結核予防全国大会（沖縄県）
 - イ 結核予防会支部東海北陸地区ブロック会議
 - ウ 結核予防会保健事業運営協議会（開催地未定）
 - エ 結核予防会事業連絡協議会（東京都）
 - オ 結核予防会全国支部事務局長研修、事務連絡会議（東京都）
 - カ 結核研究所が行う各種研修及びセミナー

長びくせきは
赤信号



- (2) 学会、各種団体主催

- ア 学会、各種団体が行う研修会、講習会に積極的に参加し、知識、技術の向上に努める。
- イ 検診業務に必要な資格取得の講習会に参加。

平成12年度結核予防リーダー研修会

(静岡県結核予防婦人会主催)

東部地区は、平成13年2月15日(木)、中部地区は、2月28日(水)、西部地区は、3月8日(木)に講師として各地区2人の先生をお招きして、(財)結核予防会顧問でエイズ予防財団理事長の島尾忠男先生には3箇所通して、静岡市瀬名病院院長の長島康之先生には東部地区を、(財)しずおか健康長寿財団理事長の星猛先生には中部地区、西部地区の講演をお願いし、開催しました。

各地区とも二百人を越す盛況でした。特に東部地区の御殿場では雪の降る悪天候の中にもかかわらず参加していただきまして、主催者として紙面を借り感謝申し上げます。

参加された方の内容感想等

島尾先生「これからの結核対策とボランティアの役割」

- ★ ボランティアの方へお願いとして早期発見
受診促進のために定期検診を
- ★ (1) 天然痘が根絶出来て、なぜ結核は困難か
(2) 若い人から高齢者の病気になったか
(3) 日本の現在の結核の特色
(4) 現状の結核に対するボランティアのあり方について
わかり易くお話していただいた



長島先生「寝たきりの予防と老人介護」

- ★ 寝たきりの原因として脳血管障害が多く中でも脳梗塞が最も多い、脳梗塞は時間が予後を左右する為前兆があったらすぐ受診して欲しいと熱く語られた。
- ★ 老人の接し方は、老人のペースを受け入れてあげ、老人にふさわしい刺激を与えつつ接することが大切なことなど話された。

星先生「高齢社会における健康作づくりと生きがいづくり」

- ★ (1) 健康長寿を支える柱…足腰を鍛える・低栄養と塩欠乏性脱水を防ぐ・努めて談笑する。
- (2) 豊かな生きがいとは…知的活動が伴う生きがい(前頭葉性生きがい)の重要性
- (3) 福祉活動に携わる人の心の問題
…福祉とは、幸せを願う気持ちはみな同じ・福は神からの授かりもの、祉は神が地上に降りて止まる・祈る気持ちの大切さ、知識と知恵の大切さ「生き抜く精神(スピリット)大切さ」等を講演された。



職員研修

平成12年度より業務の性格上閑散期である1月～3月にかけて、職員自らの知識・資質向上のために、自ら計画立案し実行した。

◎ 応急救命処理講習会

年月日 平成13年2月19日

場所 (財)結核予防会静岡県支部

講師 静岡市東消防署救急係員

内容 止血法、三角巾、固定法等実技訓練

感想 今回の講習で学んだことを各自が自己研鑽して緊急時にできれば…



◎ 避難訓練

年月日 平成13年3月22日

場所 (財)結核予防会静岡県支部

講師 静岡市東消防署予防係員

内容 模擬火災避難・消火実演

感想 1ヶ月前から消防署と2回打ち合わせを行い実施したが、訓練の本番は右往左往するばかりで戸惑いが多かった。

◎ 市政ふれあい講座"東海地震想定講演"

年月日 平成13年3月22日

場所 (財)結核予防会静岡県支部

講師 静岡市災害対策担当官

内容 阪神大震災のビデオを参考に東海地震を想定

感想 阪神大震災から時間が経過したが、新たな気持ちで拝見し大変参考になった。



◎ サービスマナー研修

年月日 平成13年3月30日

場所 (財)結核予防会静岡県支部

講師 E&Eプロモーション代表石割郁子

内容 マナー一般、マナーは自己表現、身だしなみのマナーストレス解消法

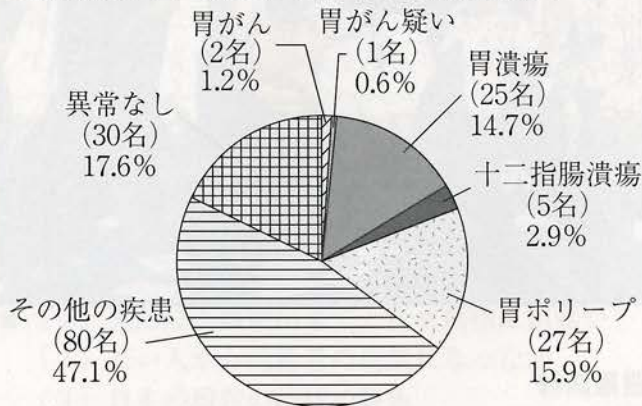
感想 接遇の必要性を痛切に感じた。普段いかにいいかげんな敬語を使っていたかがわかり良かった。来年もやってもらいたい。

地域住民・職域検診（精密検診結果）

平成12年度に当支部が受託した胃がん検診の住民・職域の要精密検査者の結果表

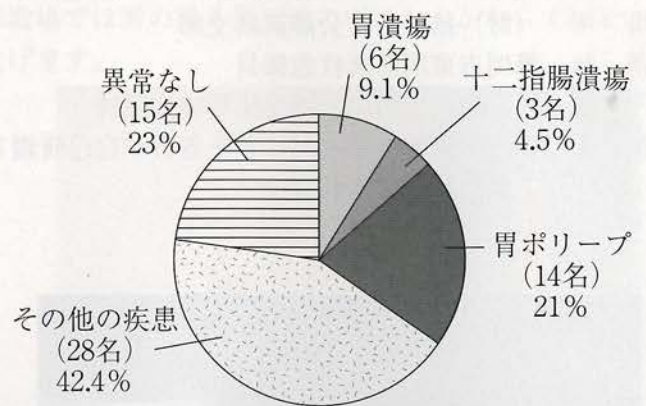
地域住民検診（精密検診結果）

要精密検査者数207人 精検受診者数170人 要精密検査受診率82.1%



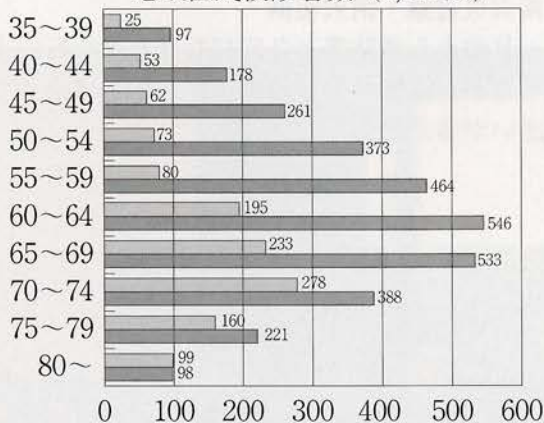
職域事業所検診（精密検診結果）

要精密検査者数87人 精検受診者数66人 要精密検査受診率75.9%

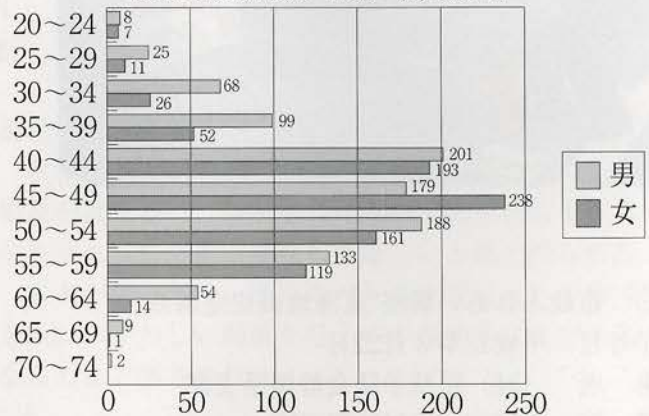


男女年齢別受診者数

地域住民検診者数 (4,417人)



職域事業所検診者数 (1,788人)



診療放射線技師の独り言

胃のエックス線写真による検診はどなたもご存知だと思います。しかし、診療放射線技師である私たちでも実際の手順を詳しく説明しなさい、と聞かれてもなかなか出来ないものです。それでは、バーチャルリアリティー風に当支部における胃部集団検診をやってみましょう…まず「発泡剤」と呼ばれる白い炭酸の固まりの薬を少しの水で飲んでいただきます。なぜかと言いますと、通常、空腹時には胃はしぼんでいますので胃の壁を伸ばしてやって出来るだけ胃の粘膜の様子をはっきり撮影してあげたいからです。その為に胃を炭酸で膨らまします。『ゲップを我慢してください』せっかく膨らましているのですから！次に、30秒～60秒ほど時間をおいて「バリウム」を150cc飲んでいただきます。

バリウムを飲み終わったら、口をティッシュペーパーで拭いていただきます。そして速やかに撮影室に入ってテーブル上の上ののっていただきまして、写真を撮っていきます。私が『仰向けになってください』『左斜めになってください』『右斜めになってください』などいろいろ、さまざまな注文を出しますが、決して面白がってやっているわけではないのです。いろいろな方向から7～8枚の写真を撮らなければなりません。受診者の協力があって良い写真が撮れます。

以上簡単でありましたが説明を終わらせていただきます。

良い写真が撮れることは、読影していただく医師が読みやすく、症状が一目で判りますから本人自身のご協力をお願いします。

当会のバリウムは素敵な香りがついていて飲みやすく、検査は懇切丁寧！早い！をモットーに励んでおります。ご意見、注文、クレーム等がありましたらお気軽にどうぞ。

(検診課 瀬音)

市町村保健センターの紹介



島田市保健福祉センター はなみずき

島田市保健福祉センター「はなみずき」は、保健・福祉・医療の連携による総合的サービスを提供する拠点として、平成9年4月に開館し、多くの市民に利用されています。

センター内には、健康づくり課、介護保険課、社会福祉協議会が入り、また、島田市医師会、歯科医師会、薬剤師会も併設されています。

施設は、ユニバーサルデザインを取り入れ、障害をお持ちの方でも十分利用できる構造となっており、また、太陽光発電システムを導入し、停電時の非常用電源（蓄電池容量28.8kwh）となっています。

なお、敷地中に、“健康への道（若石健康法）”があり、多くの市民に利用されています。

当センターでは、基本検診、胃がんなど各種のがん検診、胸部検診、乳幼児検診、相談（6ヶ月、1歳6ヶ月、3歳）、健康相談、リハビリ、予防接種など盛り沢山の業務を行っており、また、地域活動室や栄養学習室、ボランティア活動室を通して、市民に広く健康づくりに関する知識や活動の場、ボランティアの拠点として活用していただいております。「安心して暮らせるふれあいの町づくり」「住んでよかった・住んでみたい町」を目指しています。

お近くに来られた際は是非お立ち寄りください。

特 別 事 業

島田市では、毎週水曜日に、親子学習会「つくしんぼ」を開催しています。これは、ことばの遅れや身体的な問題等があり、不安を持つお母さんと子どもたちの遊びの会です。スタッフは健康づくり課、保健婦をはじめとして、福祉課の家庭児童相談員、保育士、市民病院小児科医、言語療法士、こころと体の相談センターの心理判定員です。

七夕やクリスマス、運動会など季節の行事や、プール遊び、遠足などの外遊び等、毎週楽しいメニューで笑い声の絶えない会です。

昭和54年から始まったこの会は、今年22年目を迎えます。初めは障害児の療育教室として始まりましたが、最近は虐待防止や母親の育児不安の解消という目的も重要になってきました。時代は変わり、スタッフも変わりましたが、私たちスタッフが親子を見る暖かい目は22年前と少しも変わりません。

(島田市保健福祉センター 健康づくり課 係長 大石節子)

おしらせ

- 1 結核、肺がん関係パネル等の貸出……………無料
パネル、フィルム、シャーカステン、ビデオ
- 2 結核関係図書、パンフレット等の斡旋…財団法人結核予防会発行
図書 『「JATA」ブックスシリーズ[結核症の治療]』他15冊、
「ヴァジュアルノート結核シリーズ」全4冊、「メデカルカンファ
レンス」全2冊、その他テキスト、厚生省通達関係、ツ反応、BCG等
パンフレット 「結核?!でも心配しないで」「ひとめでわかる
結核と肺がん」「改訂結核読本—結核とはどんな病気か」等……
ビデオ 医療従事者向「結核の短期化学療法」等4本 一般向1本
- 3 財団法人結核予防会ではホームページを開設しております
ホームページアドレス<http://www.jata.or.jp/>
- 4 静岡県支部のEメールはアドレスtb-shizu@topaz.ocn.ne.jp



進んで受けよう健康診断

結核検診
肺がん検診
胃がん検診

複十字シール運動の趣旨

世界保健機関（WHO）が、平成5年4月に結核の非常事態を宣言し、8年が経過した今もなお、結核は再興感染症の一つとして新興感染症とともに注目されております。

現在の日本では、マスコミ報道にも見られるように学校、医療機関、老人関係施設等において結核の集団感染が多発、それも手伝って平成9年には新規登録患者が38年ぶりに増加に転じ、平成10年以降も引き続き増加、それ以外にも多剤耐性結核問題、高齢者における結核患者の増加問題等があり、平成11年7月には厚生大臣より「結核緊急事態宣言」が発せられ、わが国における結核事情は緊急に対応を図っております。

こうした状況のなかで、複十字シール運動は結核や肺がんその他の胸部に関する疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を造成することを目的とします。

また、国内のみならず世界の結核を撲滅するため、結核が蔓延している途上国への援助も募金の目的とするものです。

(財)結核予防会の表彰による 静岡県関係の受賞者

第4回秩父宮妃記念
結核予防功労賞



山下英秋氏
(結核予防会静岡県副支部長)

平成13年度
複十字シール図案公募優秀賞



焼津市の青司宮子さん

平成13年度 複十字シール図案公募

全国より応募点数1486点のうちから
選ばれた最優秀賞3点



藤本 綾子
(神奈川・東台小3年)



花田 功
(福岡)



入口 明
(東京)

編集後記

12年度は、ここ10年来行なった事のない定期外検診があつて、結核が増加していることを目の当たりに突き付けられたような切迫した気持ちになった。

定期外検診の原因になった人は5人であったがその内の2人は接触者が多い開業医と教員で定期外検診者3,551人の内、大半を占める3,341人の多きにわたった。内1人は、当支部における定期検診で発見した。

3人は定期検診を受けておらず検診の重要性を痛感した次第である。

(T・H)

【題字：田中隆：元支部職員】